

令和 5 年度
苫小牧市図書館協議会第 2 回臨時会
会 議 次 第

開催日時 令和 6 年 2 月 2 1 日（水）午後 2 時
開催場所 苫小牧市立中央図書館 2 階講堂

1 開 会

2 挨 拶 苫小牧市教育委員会教育部 次長 斎藤 貴志

3 議 事

- (1) 苫小牧市図書館運営計画の 5 年間の評価について

4 その他

5 閉 会

苫小牧市図書館運営計画評価書

令和元年度～令和 5 年度

苫小牧市立中央図書館
苫小牧市図書館協議会事務局

はじめに

1 趣旨

指定管理期間 5 年間の実施計画を定めた「苫小牧市図書館運営計画」をもとに、毎年度の事業を実施し、図書館協議会の定例会で協議会委員の皆様にご点検評価をいただいておりますが、計画期間が令和 5 年度で終わることから、次期の指定管理期間に向けて 5 年間の評価を行います。

2 評価の流れ

ア この評価書をもとに、協議会委員の皆様には御意見・御質問があれば、事前に御送付いただきます。

イ 図書館協議会の当日には図書館長から事業内容の説明を行い、事前の質問・御意見についても併せてお答えいたします。御不明な点などは、その際に再度質問等で御確認ください。

ウ 協議会での説明を踏まえ、「委員評価」を会議後にいただきたいと考えております。送付いただいた委員評価を案としてまとめ、委員の皆様にお示しいたします。案に対して御意見等をいただき、「図書館協議会委員による評価結果」として決定していただくことになります。

エ 決定された評価は、「苫小牧市図書館運営計画の評価」とし、後日ホームページ等で公表されます。

3 事前送付の方法

御意見・御質問は別紙の『「苫小牧市図書館運営計画」評価書 御意見・御質問記載用紙』に御記入のうえ、**令和 6 年 2 月 15 日（木）**までに郵送・ファックス・メール等で事務局まで御送付ください。

御意見等がない場合は、送付は不要です。

4 その他

同封しました「苫小牧市図書館運営計画 2019-2023」の冊子には、計画の考え方や単年度実施計画が記載されていますので、併せて御覧ください。

また、本日お送りした資料は、協議会当日に持参していただきますようお願いいたします。

■ 評価書の見方について

苫小牧市図書館運営計画に掲げられた運営計画 1～4 の具体的な取組内容をまとめ、成果を明らかにした上で評価し、5 年間の自己評価としています。

(1) 具体的な取組内容

各計画の基本方針を実現するために、計画の中で取り組んだ内容と実施年度を示しています。

(2) 各計画の成果

具体的な取組内容から生じた成果について明らかにしています。

(3) 各計画の評価

取り組んだ成果をもとに評価しています。

【区分】

評価指標に対して、達成度別に A から E までの区分に分類しています。

A（達成度 100%以上）	予想を上回る成果が得られた
B（達成度 80%以上 100%未満）	ほぼ予想どおりの成果が得られた
C（達成度 50%以上 80%未満）	予想を下回る成果となった
D（達成度 20%以上 50%未満）	予想を大幅に下回る成果となった
E（達成度 20%未満）	施策の未実施あるいは成果がほとんど得られなかった

【評価理由】

評価（A～E）に至った理由を記しています。

【評価指標（事業実績）】

評価をする上での指標について運営計画 5 年間の実績値を示しています。

(4) 今後の取組と課題

取り組んだ事業に対し、今後の課題やどのように取り組むかを示しています。

運営計画 1 基礎的なサービスの充実

運営計画1

1 資料・情報収集機能の充実		
【具体的な取組内容】	予定年度	実施
・収集基準に基づいた資料収集を行った	R 1 全 期 R 5	○
・大活字本や洋書などの特徴ある資料の継続収集と充実を行った		○
・郷土・行政資料の継続収集を行った		○
・電子書籍をはじめとした電子資料の収集を行った		○
・選書選定委員会を設置し、週1度選書会議を実施した	R1	R1
2 資料・情報提供機能の充実		
【具体的な取組内容】	予定年度	実施
・参考郷土資料室の活用と周知を行った	R 1 全 期 R 5	○
・レファレンスサービスの周知と充実を行った		○
・電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知を行った		○
3 資料・情報保存機能の充実		
【具体的な取組内容】	予定年度	実施
・資料の適切な管理と保存を行った	R 1 全 期 R 5	○
・TRC-ADEACを活用したデジタルコンテンツの活用を行った		○
・電子書籍による地域資料の作成と活用を行った		○
4 図書館という空間の魅力向上		
【具体的な取組内容】	予定年度	実施
・利用ニーズの把握及び運営への反映を行った	R 1 全 期 R 5	○
・乳幼児・保護者、障がい者、高齢者のための環境整備をそれぞれ実施		○
・フリースペースとしてのリラックススペースの活用を実施		○
・外国語版利用案内を配布		○
・館内ICT拠点としての情報サロンの機器更新	R1	R1
・書籍除菌機の更新		R1
・子育て世代への利用配慮として、子育てタイムの実施		R3
・リラックススペースの改修・活用の実施	R2	R3
【運営計画1の成果】		
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、計画していた事業の実施年度をずらすなどしたが、計画期間内に実施することができた。 ・臨時休館期間には、大活字本コーナー・YAコーナーの拡充や1階閲覧室に郷土資料コーナーを新規設置、リラックススペースに書架を置くなど、利用しやすい空間づくりを行った。開館後は、目に見えて分かる変化にお客様からも好評だった。 ・新型コロナウイルス感染症が拡大する以前から、電子図書館と図書除菌機を整備していたことで、コロナ禍の新たな図書館サービスにスピード感をもって対応できた。		

運営計画1

【運営計画1の評価】

区分	評価理由
A 予想を上回る成果	成果指標のすべてで目標の100%以上を達成したため。特に蔵書冊数の増加は、選書選定委員会を設置し、安定した選書と新刊購入を行っていることに加え、平成30年と令和4年に新たな図書コーナーが開館したことが主な要因と考えている。

成果指標① 蔵書冊数

	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		3.1		
R5	冊	3.2	3.4	106.25%

・蔵書冊数は5年間での目標到達とするため、令和5年度の成果指標のみ

※基準値は、H29年度蔵書冊数526千冊を人口171千人で除した数
目標値は、R05年度目標蔵書冊数547千冊を人口170千人で除した数
実績値は、R05年12月蔵書冊数576千冊を人口167千人で除した数

成果指標② 郷土行政資料の蔵書冊数

	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		33,938		
R1	冊	34,150	35,587	104.21%
R2	冊	34,363	36,076	104.99%
R3	冊	34,575	36,870	106.64%
R4	冊	34,788	37,452	107.66%
R5	冊	35,000	38,074	108.78%

※R5年度実績値は見込冊数

成果指標③ 郷土行政資料のデジタル化点数

	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		9,797		
R1	点	9,928	10,175	102.49%
R2	点	10,058	10,175	101.16%
R3	点	10,189	10,226	100.36%
R4	点	10,319	10,325	100.06%
R5	点	10,450	10,542	100.88%

※R5年度実績値は見込点数

今後の取組と課題

この期間中に、図書館の魅力向上策として、開架棚のリニューアル等に取り組んだ。今後もニーズに合わせたよりよい空間づくりを目指して行きたいと考えている。地域資料の電子書籍化は、魅力的なコンテンツに成長すると感じているので、更なる取組を検討する。

運営計画 2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

運営計画 2

1 課題解決の支援		
【具体的な取組内容】	予定年度	実施
・レファレンスサービスの周知と充実を行った(再掲)	R1 R5 全期	○
・ICTを用いた情報入手の周知を行った		○
・パスファインダーを作成と配布を行った		○
・各種研修会へ参加し、レファレンス技能の向上を図った		○
・ICT活用講座の継続開講とその拡充を行った		○
・時節にあわせたテーマ展示を一般・児童・参考郷土資料ごとに行った		○
・他市図書館との交換展示を行った		○
・社内技術顧問を活用し、レファレンスサービス向上を図った	R1	R1
・HP上にレファレンス受付フォームを設置した	R2	R2
・自由研究のための図書館活用ガイドを作成し、配布した		R2
・医療サービス支援として「市民のための医学講座」コーナーを充実した	R3	R3
・ビジネス支援コーナーの充実と活用を行った		R3
・セカンドライフ支援として、図書館活用ガイダンスを実施した		R3
・エンディングノート作成講座を実施した	R4	R4
・イクメン講座を実施した		R4
・妊婦向け絵本講座を実施した	R5	R5
・子育て情報コーナーを開設した		R5
・自分史作成講座を実施した		R5
2 地域の結びつきの再生に向けた支援		
【具体的な取組内容】	予定年度	実施
・市民協働・外部連携の促進を図った	R1 R5 全期	○
・市内ボランティア団体との連携を図った		○
・ボランティア養成講座を実施した		○
・既存ボランティア(団体・個人)の活動を支援した		○
・図書館文化セミナー(郷土)を開催した		○
・市民協働事業の推進を行った		○
・ボードゲームの活用による交流の場を創出した	R2	R3
・イクメン講座を開催し、交流を創出した	R4	R4

【運営計画2の成果】

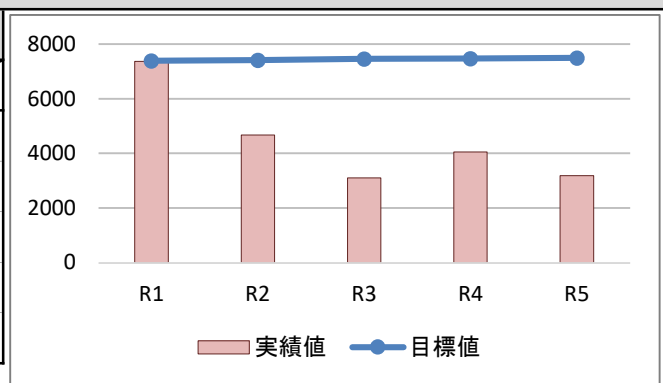
- ・ボードゲームによる交流事業をリラックススペースで初開催し、新たなるリラックススペースの活用を実現することができた。
- ・地元のアイスホッケークラブチームであるレッドイーグルス北海道のパパ選手を講師に迎え、イクメン講座を実施した。この事業をきっかけに、レッドイーグルス北海道との事業連携が増え、地域連携の幅が広がった。

【運営計画2の評価】

区分	評価理由
C 予想を下回る成果	新型コロナウイルス感染症の影響で次期を延長した事業もあったが、計画していた事業はすべて開催し、どの年齢層の参加者にも好評であった。しかし、成果指標のレファレンス受付件数に結びつかず、全ての目標値が達成できない結果であったため。

成果指標① レファレンス受付件数

	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		7,362		
R1	件	7,390	7,370	99.73%
R2	件	7,417	4,677	63.06%
R3	件	7,455	3,100	41.58%
R4	件	7,472	4,055	54.27%
R5	件	7,500	3,182	42.43%



※R5年度実績値は見込件数

今後の取組と課題

「レファレンス受付数」の減少に関しては、利用者アンケートにおいても誰に声をかけて良いか分からないというご指摘があることから、気軽に声かけが出来る環境づくりを検討する。また、事業開催に関しても単独開催ではなく地域と連携し、地域に根付いた図書館、地域の皆さんに愛される図書館づくりをしていきたいと考えている。

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

運営計画3	1 子どもの読書活動の推進		
	【具体的な取組内容】	予定年度	実施
	・乳幼児コーナーの充実を行った	R1 ～ R5 全期	○
	・「赤ちゃん、絵本のとびら事業」への協力と連携を行った		○
	・「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」の開催を実施した		○
	・読書への関心を高める体験事業を実施した		○
	・図書館文化セミナー(児童)を開催した		○
	・学校図書館支援事業を実施した		○
	・ヤングアダルト(YA・10代利用者)サービスの周知と充実を図った		○
	・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」を継続開催した		○
	・苫小牧市学校図書館研究部会及び苫小牧市学校図書館協会(以下、「苫小牧市学校図書館協会」との連携を行った		○
	・市内関連部署との連携を行った		○
	・移動図書館車による市内保育園への団体貸出の実施		○
	・児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」を充実した		○
	・YA図書館交流事業を実施した	R1	R3
	・自由研究のための図書館活用ガイドを作成し、配布した(再掲)	R2	R2
	・YA世代間の情報・交流コーナーを設置した	R3	R4
	・苫小牧市学校図書館協会研修に講師を派遣した	R4	R5
	・市内関連施設情報の集約と情報発信として、事業マップの作成及び配布を令和5年度中に行う予定	R5	予定
	2 社会で生きていくための知識・技術等の育成		
	【具体的な取組内容】	予定年度	実施
	・図書館文化セミナー(一般)を開催した	R1 ～ R5 全期	○
	・成人に向けた読書環境支援を行った		○
	・コーナー図書室と連携した全域サービスを展開した		○
	・市内各施設との協働・連携事業を開催した		○
	・市内ボランティア団体活動の周知を行った	R1	R1
	・セカンドライフ支援として、図書館活用ガイダンスを実施した(再掲)	R4	R4
	【運営方針3の成果】		
	・図書館や読書から遠のいてしまっているYA世代に対して、その世代の愛読者が多い作家のトークライブや交流の場としてのPOPと本紹介の「YA同盟」を設置、そしてYAコーナーのリニューアルを積極的に行った。 ・苫小牧市学校図書館協会研修への講師派遣として、北海道学校図書館大会への講師派遣、幼稚園の公開保育において図書館を会場にスタッフがおはなし会を開催した。		

運営計画3

【運営計画3の評価】				
区分		評価理由		
C 予想を下回る成果		計画していた事業は全て実施したが、現状維持が多く、事業改善にまで至らずに成果指標の「児童の貸出冊数」「ブックちゃん貸出件数」とともに未達成だったため。		
成果指標① 児童(0～18歳)の貸出冊数(中央図書館)				
	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		77,687		
R1	冊	78,050	66,112	84.70%
R2	冊	78,412	59,625	76.04%
R3	冊	78,775	59,240	75.20%
R4	冊	79,137	64,888	81.99%
R5	冊	79,500	60,166	75.68%
※R5年度実績値は見込冊数				
成果指標② ブックちゃん貸出件数				
	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		142		
R1	件	150	197	131.33%
R2	件	157	107	68.15%
R3	件	163	162	99.39%
R4	件	172	162	94.19%
R5	件	180	157	87.22%
※R5年度実績値は見込件数				
今後の取組と課題				
継続している事業に関してブラッシュアップが必要だと考える。ブックちゃんも、未利用の学校へのアプローチ、そして学校司書との連携を強化していきたいと考える。 また、児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」もさらに発展させ、児童センターでの出張おはなし会も検討していく。				

運営計画4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

1 効果的・効率的な図書館運営

【具体的な取組内容】	予定年度	実施
・業務改善を実施した	R 全1 期5 間	○
・個人情報保護のための取組を継続して行った		○
・利用者要望の把握と実現に努めた		○
・情報サロン自動受付システム導入による業務の効率化を図った	R1	R1
・館内照明のLED化を実施		R1
・WEBアンケートサービスを活用し、アンケートを実施した	R2	R2

2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

【具体的な取組内容】	予定年度	実施
・接遇の向上を図った	R 全1 期5 間	○
・専門性の向上を図った		○
・郷土に関する研修を実施した		○
・危機管理に関する意識の共有と研修を実施した		○
・個人情報保護研修を実施した		○
・他市交流人事を実施した	R5	R1

3 図書館サービスの周知

【具体的な取組内容】	予定年度	実施
・図書館報・市広報新聞等を用いた情報発信の充実を行った	R 全1 期5 間	○
・インターネットを用いた情報発信を充実した		○
・デジタルサイネージを活用した		○
・地域デジタルコンテンツの公開と充実を行った		○
・ホームページリニューアルを実施した	R1	R2
・SNS発信コーナーの創出を行った	R3	R3
・町内会だより等へサービスを周知した	R4	R4

4 アウトリーチの促進

【具体的な取組内容】	予定年度	実施
・司書及び図書館ボランティアや市内読み聞かせ団体などの要望に応じた人材派遣を実施	R 全1 期5 間	○
・障がい者サービスを周知した		○
・移動図書館車を用いたアウトリーチサービスを実施した		○
・非来館型サービスとしての電子図書館の充実を図った		○
・市内病院と連携し、市民向けに情報提供を行った	R1	R1

【運営方針4の成果】

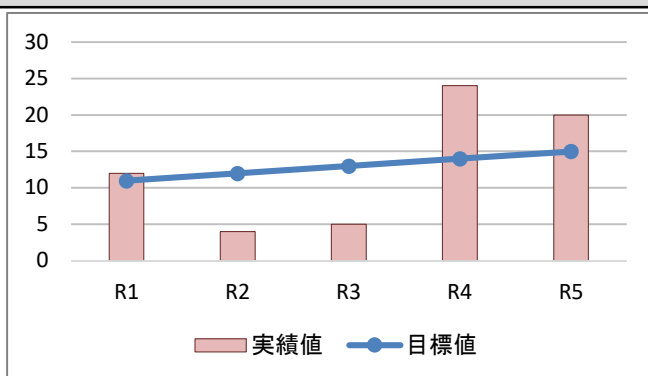
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アウトリーチの実施は難しい状況が続いたが、5類移行後は、他の施設でのおはなし会を精力的に行い、図書館活動の周知につながった。
- ・電子図書館への地域資料を積極的にコンテンツ化し、好評を得ている。
- ・図書館の周知及び利用促進として、SNSを新たに開設した。さらに、町内会だよりイベント情報の掲載を依頼するなど、どの年齢層にも情報を提供出来るように努めた。

【運営計画4の評価】

区分	評価理由
A 予想を上回る成果	「司書派遣事業件数」は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2～3年度は目標値に到達できなかったが、その後は、図書館側からの声掛けが実を結び、目標を大きく上回った。さらに、「利用者満足度」では、コロナ禍でも図書館としてできる限りのサービスを実施したことが高評価につながったため。

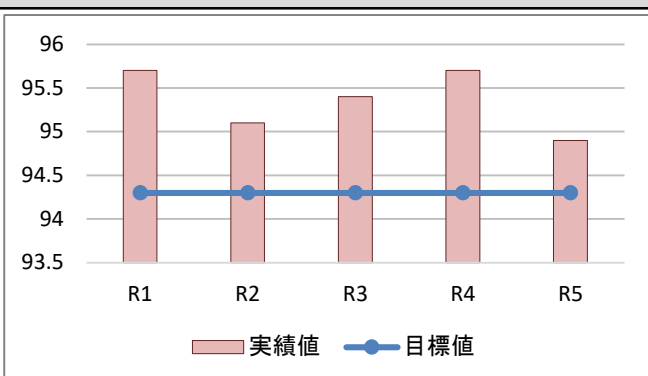
成果指標① 司書派遣事業件数

	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		11		
R1	件	11	12	109.09%
R2	件	12	4	33.33%
R3	件	13	5	38.46%
R4	件	14	24	171.43%
R5	件	15	20	133.33%



成果指標② 利用者満足度

	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		94.2		
R1	%	94.3	95.7	101.48%
R2	%	94.3	95.1	100.85%
R3	%	94.3	95.4	101.17%
R4	%	94.3	95.7	101.48%
R5	%	94.3	94.9	100.64%



今後の取組と課題

効果的・効率的な図書館運営として、館内照明のLED化を実施したが、未実施の箇所もあるため、今後もLED化を計画的に行っていく。また、アウトリーチの促進として「出張！図書館」を精力的に実施しているが、今後はそこに移動図書館車をプラスし、アウトリーチの強化を図るとともに、さらなる図書館の周知・利用促進に努める。

図書館運営計画 全体評価

【図書館運営計画の全体評価】

区分 評価理由

C

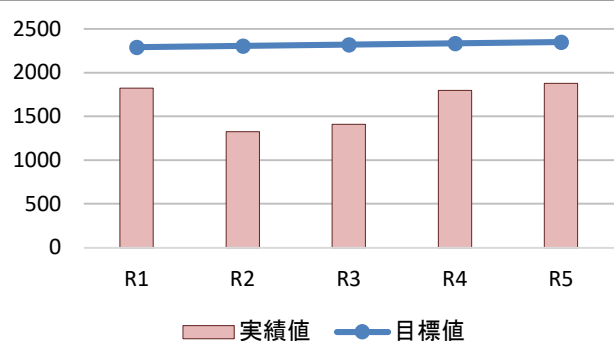
予想を下回る成果

目標設定時には、新型コロナウイルス感染症を予想していなかったため、すべての目標値で大幅な減になっている。
しかし、令和元年度は2月～3月のみの影響であることや令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、通常運営ができていたことを考慮すると、全ての年度で目標値が達成できなかったことは、図書館運営として満足のいく結果とはならなかったため。

成果指標① 新規利用登録者数

	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		2,277		
R1	人	2,292	1,822	79.49%
R2	人	2,306	1,326	57.50%
R3	人	2,321	1,409	60.71%
R4	人	2,335	1,796	76.92%
R5	人	2,350	1,878	79.91%

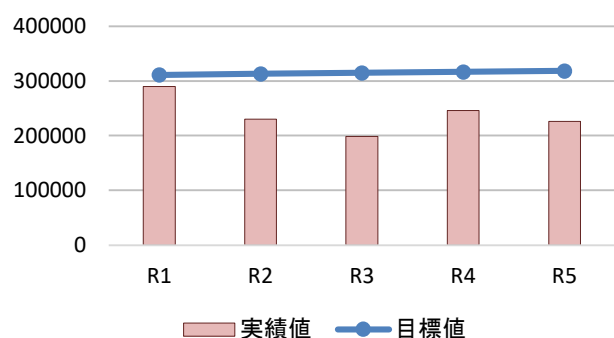
※R5年度実績値は見込人数



成果指標② 中央図書館入館者数

	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		309,377		
R1	人	311,262	289,560	93.03%
R2	人	313,146	230,092	73.48%
R3	人	315,031	198,203	62.92%
R4	人	316,915	246,001	77.62%
R5	人	318,800	225,827	70.84%

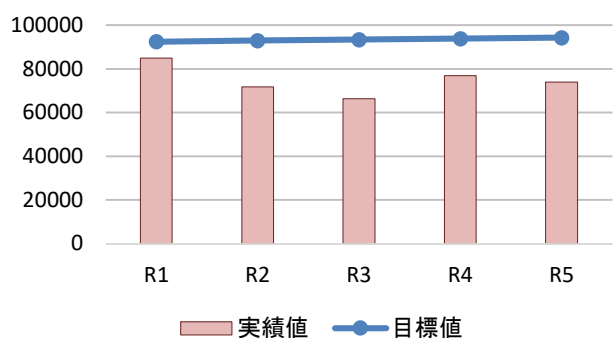
※R5年度実績値は見込人数



成果指標③ 中央図書館貸出人数

	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		92,006		
R1	人	92,475	84,973	91.89%
R2	人	92,944	71,714	77.16%
R3	人	93,412	66,305	70.98%
R4	人	93,881	76,813	81.82%
R5	人	94,350	73,974	78.40%

※R5年度実績値は見込人数



運営計画全体評価

運営計画全体評価

成果指標④ 中央図書館貸出冊数				
	単位	目標値	実績値	達成率
H29(基準値)		451,748		
R1	冊	454,038	409,150	90.11%
R2	冊	456,329	366,958	80.42%
R3	冊	458,619	344,682	75.16%
R4	冊	460,910	389,127	84.43%
R5	冊	463,200	368,571	79.57%

※R5年度実績値は見込冊数

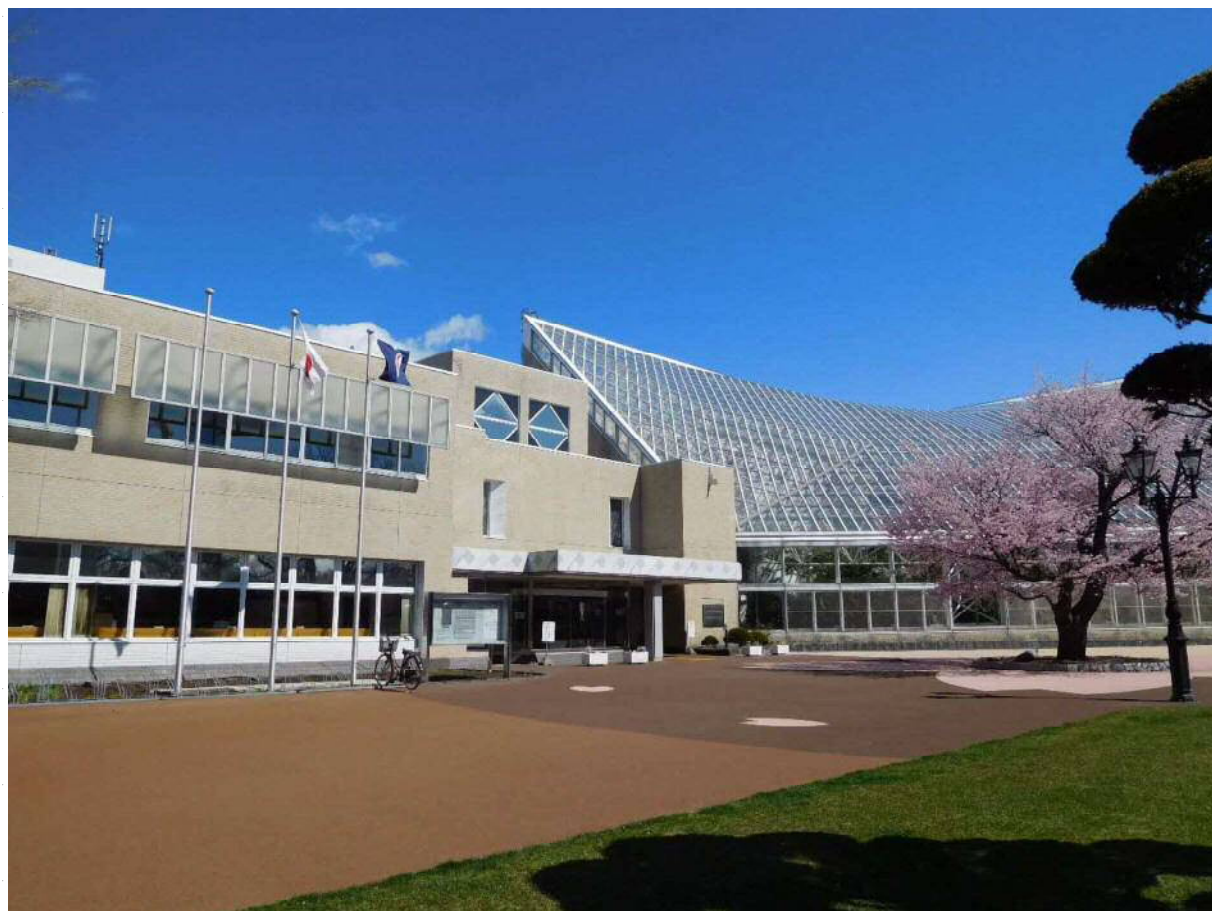
年度	実績値	目標値
R1	409,150	454,038
R2	366,958	456,329
R3	344,682	458,619
R4	389,127	460,910
R5	368,571	463,200

今後の取組と課題

今後は、新型コロナウイルス感染症の影響により図書館から遠のいてしまった方々をどう取り戻すかの施策が必要と考えている。既存のサービスや図書館という固定概念にとらわれず、今のニーズに沿ったサービス展開を検討していく。また、待っているだけではなく図書館から飛び出しアウトリーチを積極的に行っていく。

苫小牧市図書館運営計画

2019-2023



苫小牧市立中央図書館 指定管理者 TRC 苫小牧グループ

1. 当計画の位置づけ

苫小牧市立中央図書館は 2014 年度から 2018 年度の 5 年の間、2014 年 6 月に策定された「苫小牧市図書館基本計画（以下、図書館基本計画）」を基に図書館運営してまいりました。

この「苫小牧市図書館運営計画（以下、図書館運営計画）」は、「苫小牧市総合基本計画（基本構想・第 6 次基本計画）」の部門別個別計画として、2018 年 7 月に策定された「苫小牧市図書館運営方針（以下、図書館運営方針）」を基に、指定管理者が策定した実施計画として位置付けます。なお当計画はこの「図書館運営方針」にある「第 4 章 図書館運営方針」を基にしており、2019 年度から 2023 年度の 5 年の受託期間を通じてよりよいサービスを提供してまいります。

2. 計画期間

2019 年度～2023 年度の 5 年間と定めます。

3. 基本的な考え方

図書館運営計画に掲げられる項目は以下の 4 点です。

- 運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実
- 運営計画 2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化
- 運営計画 3 教育的役割を重視した取組の推進
- 運営計画 4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4. 評価について

単年度実施計画の評価方法としては、以下の 3 点において評価します。

- 1) 図書館利用者アンケート
- 2) 各計画における単年度ごとの指標を基にしたセルフモニタリング
- 3) 苫小牧市図書館協議会による評価

5. 指定管理期間における利用に関する具体的目標（中央図書館）

「図書館運営計画」において、計画期間中の具体的目標については「図書館基本計画」に設定される個別目標を参照の上、策定するものとしていますが、これは苫小牧市が市民に示す目標値として大変重要なものであります。各計画ごとの目標については項目ごとに示しますが、単年度においては全体の図書館利用増減を相対的に示す量的指標として「新規利用登録者数」「入館者数」「貸出人数」「貸出冊数」の 4 点に絞って目標設定します。

指標	現状値 (2017 年)	最終目標値 (2023 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,350 人	5 年増加率 103.2%
入館者数	309,377 人	318,800 人	5 年増加率 103.0%
貸出人数	92,006 人	94,350 人	5 年増加率 102.5%
貸出冊数	451,748 冊	463,200 冊	5 年増加率 102.5%

運営計画1 基礎的な図書館サービスの充実

図書館運営の根幹である資料・情報収集及びその提供と保存について、今まで以上の活用と充実を図るとともに、魅力的な各種イベント、事業の開催に努めます。

また、資料・情報の提供という役割に加え、市民の居場所としての図書館づくりのために、以下の4つの充実と図書館の魅力向上に努めます。

1-1 資料・情報収集機能の充実

資料・情報収集については図書館の基礎的サービスとして最も重要なサービスととらえ、「苫小牧市資料収集基準」を基に市民のニーズに配慮しながら、バランスの取れた資料収集を図ります。

また、郷土・行政資料の充実はもちろん、商用オンラインデータベースの活用、電子書籍を含んだ電子資料の収集と活用、その他きめ細かなニーズを押さえながら、資料・情報収集機能の充実と市民の生涯学習に寄与してまいります。

具体内容
・資料収集基準に基づいた資料収集
・特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
・郷土・行政資料の継続収集と充実
・電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実
・選書選定委員会の設置

1-2 資料・情報提供機能の充実

図書館が市民の生涯学習を支え、課題解決を含んだ情報拠点としてあるためには、資料・情報収集だけでなく、その収集した資料・情報をいかに活用、提供していくかが肝要です。図書館はその活用推進をすすめていくための課題解決の一助として、今まで以上にレファレンスサービスを充実させ、まだこのサービスを活用したことのない市民への周知に努めてまいります。

具体内容
・参考郷土資料室の活用と周知
・レファレンスサービスの周知と充実
・電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実

収集した資料は、北海道・苫小牧という特徴ある地域性や利用者のニーズ、時流の変化を十分考慮しながら、適切な保管に努めます。

また、時代にあった資料保存として、資料のデジタル化なども進めながら、限られたスペースの活用を図り、苫小牧市らしい資料・情報保存に努めてまいります。

具体内容
・資料の適切な管理と保存
・TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
・電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上

図書館に求められるサービスやその機能は、時代の変遷とともに移り変わってきました。図書館として資料を揃え、提供するという図書館の重要な役割に変わりはありませんが、現在は図書館という空間を市民の憩いの場、市民が集まり交流する場としての役割が求められています。

その他図書館は課題解決の場として、市民の生涯学習の場としてはもちろん、子ども連れでも気軽に利用でき、くつろぎながら読書をし、読み聞かせのできる場といった従来の資料提供の機能に加え、今後は滞在型図書館としての図書館づくりに努めてまいります。

具体内容
・利用ニーズの把握及び運営への反映
・乳幼児・保護者のための環境整備
・障がい者のための環境整備
・高齢者のための環境整備
・フリースペースとしてのリラックススペースの活用
・外国語版利用案内の配布
・館内 ICT 拠点としての情報サロン機器更新
・書籍消毒機の更新
・子育て世代への利用配慮（子育てタイムの実施）
・リラックススペースの改修・活用

運営計画 1 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
蔵書冊数※	3.1 冊	3.2 冊	・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	35,000 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	10,450 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

※蔵書冊数：現状値（2017 年）は苫小牧市の蔵書冊数 526 千冊を奉仕人口 171 千人で除した数
目標値（2023 年）は苫小牧市の蔵書冊数 547 千冊を奉仕人口 170 千人で除した数

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

市民が安心して日々の生活を送るためには、社会・生活環境の変化から発生する課題解決が必須となります。その他職業上の課題や地域課題などの解決も、円滑な生活の運営には不可欠です。現在、図書館では地域を支える拠点として従来の資料収集、資料貸出、情報提供、調べもの相談（レファレンス）等のサービスを行っておりますが、今後はそちらに加え、課題の多様化に対応し、市民の求める情報を発信し、支援機能の強化に努めてまいります。

2-1 課題解決支援

市民が自ら情報を得て、活用するための力を養うための講座の開催や、子育て、医療・健康に関することなど、人々にとって特に身近な分野に対するレファレンスの活用は、図書館の大切な役割と考えます。その他利用者の情報要求に応じるため、図書館以外の専門施設の案内・紹介するレフェラルサービスについても充実に努めてまいります。

具体内容
・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
・ICTを用いた情報入手の周知
・パスファインダーの作成と配布
・レファレンス技能の向上
・ICT活用講座の継続開講とその拡充
・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
・他市図書館との交換展示
・社内技術顧問を活用したレファレンスサービスの向上
・HP上レファレンス受付フォームの設置
・自由研究のための図書館活用ガイドの作成・配布
・医療サービス支援としての「市民のための医学講座」コーナーの充実
・ビジネス支援コーナーの充実と活用
・セカンドライフ支援としての図書館活用ガイダンスの開催
・エンディングノート作成講座
・イクメン講座の開催
・妊婦向け絵本講座の開催
・子育て情報コーナーの開設
・自分史作成講座

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援

今後図書館では、従来の資料活用の機能に加え、地域の中にある人と人とが繋がる場としての図書館づくりを進めてまいります。その他専門家としての地域人材を活用した講座の開催や、地域での活動を始めたい人のための機会の提供に努めてまいります。

また、地域人材の最たるものである図書館ボランティアの方々の知識や技能を活かすための場の創出やボランティア同士、ボランティアと市民を結びつけるための工夫を行ってまいります。

具 体 内 容
・ 市民協働・外部連携の促進
・ 市内ボランティア団体との連携
・ ボランティア養成講座の開催
・ 既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
・ 図書館文化セミナー（郷土）の開催
・ 市民協働事業の推進
・ ボードゲーム活用による交流の場の創出
・ イベント開催による交流の創出

運営計画 2 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
レファレンス受付 件数	7,362 件	7,500 件	・ 市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

図書館は人々の学習活動、生涯学習の拠点として機能する社会教育施設です。この図書館に求められている教育的役割を再認識し、市及び他施設の実施する教育・生涯学習案連事業に対し、積極的に関わり、支援、連携するとともに学校図書館へのさらなる支援に努めてまいります。

3-1 子どもの読書活動の推進

子どもの情報活用能力、課題解決能力を養うためには「読解力」を高めることが肝要です。そのためには「第4次苫小牧市子どもの読書活動推進計画」を基に市及び他施設と連携し、子どもの読書活動推進へ注力し、子どもの「生きる力」の育成の一助として努めてまいります。

具体内容
・乳幼児コーナーの充実
・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
・「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」の開催
・読書への関心を高める体験型事業の実施
・図書館文化セミナー（児童）の開催
・学校図書館支援事業
・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
・苫教研学校図書館研究部会との連携
・市内関連部署との連携
・移動図書館車による市内保育園への団体貸出
・児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
・YA図書館交流事業
・自由研究のための図書館活用ガイドの作成・配布（再掲）
・YA世代間の情報・交流コーナーの設置
・苫教研学校図書館研究部会研修講師派遣
・市内関連施設情報の集約と情報発信（事業マップの作成・配布）

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成

成人への読書習慣の促進は、課題解決や人生の充実のためにも必要な取り組みです。図書館は今後も社会教育施設の果たすべき役割の一つとして、その推進と向上に向けた取り組みを行ってまいります。

また、市及び他施設の開催する教育・生涯学習関連事業とこれまで以上に積極的に連携し、市民の生活が充実するための取り組みを図ってまいります。

具体内容
・図書館文化セミナー（一般）の開催
・成人に向けた読書環境支援
・コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
・市内各施設との協働・連携事業の開催
・市内ボランティア団体活動の周知
・セカンドライフ支援としての図書館活用ガイダンスの開催（再掲）

運営計画3における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	79,500 冊	・子ども(0～18 歳)による図書館資料活用度を示す指標
ブックちゃん貸出 件数	142 件	180 件	・学校図書館支援事業がどれだけ実施されたか示す指標

運営計画4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

図書館は情報提供施設であるという機能、役割に加え、現代の社会情勢や市民のニーズの変化に対応する迅速かつ適切な運営が求められています。それらに対応していくためには図書館が自ら持つ人的・物的資源、予算を用い、効果的・効率的な活用を行っていくことが肝要です。

そのためには、その資源を必要に応じて変化させ、質的向上を図りながら、継続した安定的な運営を進め、魅力的な図書館づくりを行ってまいります。

4-1 効果的・効率的な図書館運営

効果的・効率的な運営を図るために、全国の図書館事例を参考にしながら、民間の持つノウハウを積極的に導入し、よりよい図書館を運営してまいります。また、利用者の個人情報の取り扱いについては十分留意することに加え、年1回の社内監査とスタッフ研修を実施するなど、継続的かつ安定的な運営を図ってまいります。

具体内容
・業務改善の実施
・個人情報保護のための取組の継続
・利用者要望の把握とその実現
・情報サロン自動受付システム導入による業務の効率化
・館内照明のLED化
・web アンケートサービスの活用

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

安定的かつ効果的、効率的な運営を行っていくためには、スタッフの育成が肝要です。図書館運営に十分寄与することのできる人材の育成のために、適正かつ幅広い内容の研修を行ってまいります。

具体内容
・接遇の向上
・専門性の向上
・郷土に関する研修の実施
・危機管理に関する意識の共有と研修の実施
・個人情報保護研修
・他市交流人事の実施

4-3 図書館サービスの周知

市民のニーズに対応した特色ある図書館サービスの周知については、様々な世代に対応した各種媒体を用いることはもちろん、機会に応じて積極的な周知に努め、図書館利用の促進に努めてまいります。

具体内容
・図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
・インターネットを用いた情報発信の充実
・デジタルサイネージの活用
・地域デジタルコンテンツの公開と充実
・ホームページリニューアル
・SNS 発信コーナーの創出
・町内会たより等へのサービス周知

4-4 アウトリーチの推進

図書館利用に関するニーズは多様に変化し、細分化され、図書館の積極的なアウトリーチサービスの要望が高まっています。

従来行ってきた司書派遣事業をはじめとする学校連携事業や、各施設と連携した子どもの読書推進事業のさらなる充実に努めてまいります。また、移動図書館車を用いた市内各施設へのアウトリーチサービスの推進に努め、図書館利用促進とその周知を図ってまいります。

具体内容
・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
・障害者サービスの周知
・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進
・市内病院との連携による情報提供の創出

運営計画 4 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	15 件	・アウトリーチサービスとして司書 がどれだけ学校図書館へ寄与出来 たか示す指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (各年度)	説明
利用者満足度	94.2%	94.3%	・図書館利用における質的満足度を 示す指標 ・各年度 94.3%の満足度を維持する ことを目標とする

2019 年度 単年度実施計画

単年度実施計画は、運営計画をもとに各年度に取り組む具体内容を示すものです。
なお達成できなかった項目については、次年度の計画へ盛り込むことを検討します。

運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実

1-1 資料・情報収集機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料収集基準に基づいた資料収集
	・ 特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
	・ 郷土・行政資料の継続収集と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実
2019	・ 選書選定委員会の設置

1-2 資料・情報提供機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 参考郷土資料室の活用と周知
	・ レファレンスサービスの周知と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料の適切な管理と保存
	・ TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
	・ 電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上	
実施年度	具体内容
全期間	・ 利用ニーズの把握及び運営への反映
	・ 乳幼児・保護者のための環境整備
	・ 障がい者のための環境整備
	・ 高齢者のための環境整備
	・ フリースペースとしてのリラックススペースの活用
	・ 外国語版利用案内の配布
2019	・ 館内 ICT 拠点としての情報サロン機器更新
	・ 書籍消毒機の更新
	・ 子育て世代への利用配慮（子育てタイムの実施）

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

2-1 課題解決支援

実施年度	具体内容
全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
	・ICTを用いた情報入手の周知
	・パスファインダーの作成と配布
	・レファレンス技能の向上
	・ICT活用講座の継続開講とその拡充
	・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
	・他市図書館との交換展示
2019	・社内技術顧問を活用したレファレンスサービスの向上

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援

実施年度	具体内容
全期間	・市民協働・外部連携の促進
	・市内ボランティア団体との連携
	・ボランティア養成講座の開催
	・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
	・図書館文化セミナー（郷土）の開催
	・市民協働事業の推進

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

3-1 子どもの読書活動の推進

実施年度	具体内容
全期間	・乳幼児コーナーの充実
	・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
	・「赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本ひろば」の開催
	・読書への関心を高める体験型事業の実施
	・図書館文化セミナー（児童）の開催
	・学校図書館支援事業
	・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
	・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
	・苫小牧市立学校図書館研究部会との連携
	・市内関連部署との連携
	・移動図書館車による市内保育園への団体貸出
	・児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実

2019	・YA 図書館交流事業
------	-------------

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成

実施年度	具体内容
全期間	・図書館文化セミナー（一般）の開催
	・成人に向けた読書環境支援
	・コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
	・市内各施設との協働・連携事業の開催
2019	・市内ボランティア団体活動の周知

運営計画4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4-1 効果的・効率的な図書館運営

実施年度	具体内容
全期間	・業務改善の実施
	・個人情報保護のための取組の継続
	・利用者要望の把握とその実現
2019	・情報サロン自動受付システム導入による業務の効率化
	・館内照明のLED化

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

実施年度	具体内容
全期間	・接遇の向上
	・専門性の向上
	・郷土に関する研修の実施
	・危機管理に関する意識の共有と研修の実施
	・個人情報保護研修

4-3 図書館サービスの周知

実施年度	具体内容
全期間	・図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
	・インターネットを用いた情報発信の充実
	・デジタルサイネージの活用
	・地域デジタルコンテンツの公開と充実
2019	・ホームページリニューアル

4-4 アウトリーチの推進	
実施年度	具体内容
全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
	・障害者サービスの周知
	・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
	・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進
2019	・市内病院との連携による情報提供の創出

運営計画 1 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2019 年)	説明
蔵書冊数	5 年間で目標達成とするため、単年度の成果指標としては使用せず。		・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	34,150 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	9,928 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

運営計画 2 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2019 年)	説明
レファレンス受付件数	7,362 件	7,390 件	・市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画 3 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2019 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	78,050 冊	・子ども（0～18 歳）による図書館資料活用度を示す指標

ブックちゃん貸出 件数	142 件	150 件	・ 学校図書館支援事業がどれだけ実施 されたか示す指標
----------------	-------	-------	--------------------------------

運営計画 4 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2019 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	11 件	・ アウトリーチサービスとして司書が どれだけ学校図書館へ寄与出来たか 示す指標
利用者満足度	94.2%	94.3%	・ 図書館利用における質的満足度を示 す指標

2019 年度 単年度目標

単年度指標 毎年	現状値 (2017 年)	単年度目標値 (2019 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,292 人	現状値増加率 100.6%
入館者数	309,377 人	311,262 人	現状値増加率 100.6%
貸出人数	92,006 人	92,475 人	現状値増加率 100.5%
貸出冊数	451,748 冊	454,038 冊	現状値増加率 100.5%

2020 年度 単年度実施計画（案）

単年度実施計画は、運営計画をもとに各年度に取り組む具体内容を示すものです。
なお達成できなかった項目については、次年度の計画へ盛り込むことを検討します。

運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実

1-1 資料・情報収集機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料収集基準に基づいた資料収集
	・ 特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
	・ 郷土・行政資料の継続収集と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実

1-2 資料・情報提供機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 参考郷土資料室の活用と周知
	・ レファレンスサービスの周知と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料の適切な管理と保存
	・ TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
	・ 電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上	
実施年度	具体内容
全期間	・ 利用ニーズの把握及び運営への反映
	・ 乳幼児・保護者のための環境整備
	・ 障がい者のための環境整備
	・ 高齢者のための環境整備
	・ フリースペースとしてのリラックススペースの活用
	・ 外国語版利用案内の配布
2020	・ リラックススペースの改修・活用

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

2-1 課題解決支援	
実施年度	具体内容
全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
	・ICT を用いた情報入手の周知
	・パスファインダーの作成と配布
	・レファレンス技能の向上
	・ICT 活用講座の継続開講とその拡充
	・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
	・他市図書館との交換展示
2020	・HP 上レファレンス受付フォームの設置
	・自由研究のための図書館活用ガイドの作成・配布

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	
実施年度	具体内容
全期間	・市民協働・外部連携の促進
	・市内ボランティア団体との連携
	・ボランティア養成講座の開催
	・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
	・図書館文化セミナー（郷土）の開催
	・市民協働事業の推進
2020	・ボードゲーム活用による交流の場の創出

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

3-1 子どもの読書活動の推進	
実施年度	具体内容
全期間	・乳幼児コーナーの充実
	・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
	・「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」の開催
	・読書への関心を高める体験型事業の実施
	・図書館文化セミナー（児童）の開催
	・学校図書館支援事業
	・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
	・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
	・苫教研学校図書館研究部会との連携
	・市内関連部署との連携

全期間	・ 移動図書館車による市内保育園への団体貸出
	・ 児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
2020	・ 自由研究のための図書館活用ガイドの作成・配布（再掲）

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成

実施年度	具体内容
全期間	・ 図書館文化セミナー（一般）の開催
	・ 成人に向けた読書環境支援
	・ コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
	・ 市内各施設との協働・連携事業の開催

運営計画 4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4-1 効果的・効率的な図書館運営

実施年度	具体内容
全期間	・ 業務改善の実施
	・ 個人情報保護のための取組の継続
	・ 利用者要望の把握とその実現
2020	・ web アンケートサービスの活用

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

実施年度	具体内容
全期間	・ 接遇の向上
	・ 専門性の向上
	・ 郷土に関する研修の実施
	・ 危機管理に関する意識の共有と研修の実施
	・ 個人情報保護研修

4-3 図書館サービスの周知

実施年度	具体内容
全期間	・ 図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
	・ インターネットを用いた情報発信の充実
	・ デジタルサイネージの活用
	・ 地域デジタルコンテンツの公開と充実

4-4 アウトリーチの推進	
実施年度	具体内容
全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
	・障害者サービスの周知
	・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
	・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進

運営計画 1 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2020 年)	説明
蔵書冊数	5 年間で目標達成とするため、単年度の成果指標としては使用せず。		・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	34,363 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	100,58 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

運営計画 2 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2020 年)	説明
レファレンス受付件数	7,362 件	7,417 件	・市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画 3 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2020 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	78,412 冊	・子ども（0～18 歳）による図書館資料活用度を示す指標
ブックちゃん貸出件数	142 件	157 件	・学校図書館支援事業がどれだけ実施されたか示す指標

運営計画 4 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2020 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	12 件	・アウトリーチサービスとして司書が どれだけ学校図書館へ寄与出来たか 示す指標
利用者満足度	94.2%	94.3%	・図書館利用における質的満足度を示 す指標

2020 年度 単年度目標

単年度指標 毎年	現状値 (2017 年)	単年度目標値 (2020 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,306 人	現状値増加率 101.3%
入館者数	309,377 人	313,146 人	現状値増加率 101.2%
貸出人数	92,006 人	92,944 人	現状値増加率 101.0%
貸出冊数	451,748 冊	456,329 冊	現状値増加率 101.0%

2021 年度 単年度実施計画（案）

単年度実施計画は、運営計画をもとに各年度に取り組む具体内容を示すものです。
なお達成できなかった項目については、次年度の計画へ盛り込むことを検討します。

運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実

1-1 資料・情報収集機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料収集基準に基づいた資料収集
	・ 特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
	・ 郷土・行政資料の継続収集と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実

1-2 資料・情報提供機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 参考郷土資料室の活用と周知
	・ レファレンスサービスの周知と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料の適切な管理と保存
	・ TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
	・ 電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上	
実施年度	具体内容
全期間	・ 利用ニーズの把握及び運営への反映
	・ 乳幼児・保護者のための環境整備
	・ 障がい者のための環境整備
	・ 高齢者のための環境整備
	・ フリースペースとしてのリラックススペースの活用
	・ 外国語版利用案内の配布

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

2-1 課題解決支援	
実施年度	具体内容
全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
	・ICTを用いた情報入手の周知
	・パスファインダーの作成と配布
	・レファレンス技能の向上
	・ICT活用講座の継続開講とその拡充
	・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
	・他市図書館との交換展示
2021	・医療サービス支援としての「市民のための医学講座」コーナーの充実
	・ビジネス支援コーナーの充実と活用
	・セカンドライフ支援としての図書館活用ガイダンスの開催

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	
実施年度	具体内容
全期間	・市民協働・外部連携の促進
	・市内ボランティア団体との連携
	・ボランティア養成講座の開催
	・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
	・図書館文化セミナー（郷土）の開催
	・市民協働事業の推進

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

3-1 子どもの読書活動の推進	
実施年度	具体内容
全期間	・乳幼児コーナーの充実
	・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
	・「赤ちゃんを楽しむ絵本ひろば」の開催
	・読書への関心を高める体験型事業の実施
	・図書館文化セミナー（児童）の開催
	・学校図書館支援事業
	・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
	・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
	・苫教研学校図書館研究部会との連携
	・市内関連部署との連携

全期間	・移動図書館車による市内保育園への団体貸出
	・児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
2021	・YA世代間の情報・交流コーナーの設置

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成

実施年度	具体内容
全期間	・図書館文化セミナー（一般）の開催
	・成人に向けた読書環境支援
	・コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
	・市内各施設との協働・連携事業の開催
2021	・セカンドライフ支援としての図書館活用ガイダンスの開催（再掲）

運営計画4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4-1 効果的・効率的な図書館運営

実施年度	具体内容
全期間	・業務改善の実施
	・個人情報保護のための取組の継続
	・利用者要望の把握とその実現

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

実施年度	具体内容
全期間	・接遇の向上
	・専門性の向上
	・郷土に関する研修の実施
	・危機管理に関する意識の共有と研修の実施
	・個人情報保護研修

4-3 図書館サービスの周知

実施年度	具体内容
全期間	・図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
	・インターネットを用いた情報発信の充実
	・デジタルサイネージの活用
	・地域デジタルコンテンツの公開と充実
2021	・SNS 発信コーナーの創出

4-4 アウトリーチの推進	
全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
	・障害者サービスの周知
	・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
	・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進

運営計画 1 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2021 年)	説明
蔵書冊数	5 年間で目標達成とするため、単年度の成果指標としては使用せず。		・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	34,575 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	10,189 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

運営計画 2 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2021 年)	説明
レファレンス受付件数	7,362 件	7,445 件	・市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画 3 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2021 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	78,775 冊	・子ども (0～18 歳) による図書館資料活用度を示す指標
ブックちゃん貸出 件数	142 件	163 件	・学校図書館支援事業がどれだけ実施されたか示す指標

運営計画 4 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2021 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	13 件	・アウトリーチサービスとして司書がどれだけ学校図書館へ寄与出来たか示す指標
利用者満足度	94.2%	94.3%	・図書館利用における質的満足度を示す指標

2021 年度 単年度目標

単年度指標 毎年	現状値 (2017 年)	単年度目標値 (2021 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,321 人	現状値増加率 101.9%
入館者数	309,377 人	315,031 人	現状値増加率 101.8%
貸出人数	92,006 人	93,412 人	現状値増加率 101.5%
貸出冊数	451,748 冊	458,619 冊	現状値増加率 101.5%

2022 年度 単年度実施計画（案）

単年度実施計画は、運営計画をもとに各年度に取り組む具体内容を示すものです。
なお達成できなかった項目については、次年度の計画へ盛り込むことを検討します。

運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実

1-1 資料・情報収集機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料収集基準に基づいた資料収集
	・ 特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
	・ 郷土・行政資料の継続収集と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実

1-2 資料・情報提供機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 参考郷土資料室の活用と周知
	・ レファレンスサービスの周知と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料の適切な管理と保存
	・ TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
	・ 電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上	
実施年度	具体内容
全期間	・ 利用ニーズの把握及び運営への反映
	・ 乳幼児・保護者のための環境整備
	・ 障がい者のための環境整備
	・ 高齢者のための環境整備
	・ フリースペースとしてのリラックススペースの活用
	・ 外国語版利用案内の配布

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

2-1 課題解決支援	
実施年度	具体内容
全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
	・ICT を用いた情報入手の周知
	・パスファインダーの作成と配布
	・レファレンス技能の向上
	・ICT 活用講座の継続開講とその拡充
	・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
	・他市図書館との交換展示
2022	・エンディングノート作成講座
	・イクメン講座の開催

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	
実施年度	具体内容
全期間	・市民協働・外部連携の促進
	・市内ボランティア団体との連携
	・ボランティア養成講座の開催
	・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
	・図書館文化セミナー（郷土）の開催
	・市民協働事業の推進
2022	・イクメン講座開催による交流の創出

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

3-1 子どもの読書活動の推進	
実施年度	具体内容
全期間	・乳幼児コーナーの充実
	・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
	・「赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本ひろば」の開催
	・読書への関心を高める体験型事業の実施
	・図書館文化セミナー（児童）の開催
	・学校図書館支援事業
	・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
	・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
	・苫小牧市学校図書館研究部会との連携
	・市内関連部署との連携

全期間	・ 移動図書館車による市内保育園への団体貸出
	・ 児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
2022	・ 苦教研学校図書館研究部会研修講師派遣

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成

実施年度	具体内容
全期間	・ 図書館文化セミナー（一般）の開催
	・ 成人に向けた読書環境支援
	・ コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
	・ 市内各施設との協働・連携事業の開催

運営計画 4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4-1 効果的・効率的な図書館運営

実施年度	具体内容
全期間	・ 業務改善の実施
	・ 個人情報保護のための取組の継続
	・ 利用者要望の把握とその実現

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

実施年度	具体内容
全期間	・ 接遇の向上
	・ 専門性の向上
	・ 郷土に関する研修の実施
	・ 危機管理に関する意識の共有と研修の実施
	・ 個人情報保護研修

4-3 図書館サービスの周知

実施年度	具体内容
全期間	・ 図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
	・ インターネットを用いた情報発信の充実
	・ デジタルサイネージの活用
	・ 地域デジタルコンテンツの公開と充実
2022	・ 町内会だより等へのサービス周知

4-4 アウトリーチの推進	
実施年度	具体内容
全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
	・障害者サービスの周知
	・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
	・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進

運営計画 1 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2022 年)	説明
蔵書冊数	5 年間で目標達成とするため、単年度の成果指標としては使用せず。		・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	34,788 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	10,319 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

運営計画 2 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2022 年)	説明
レファレンス受付件数	7,362 件	7,472 件	・市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画 3 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2022 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	79,137 冊	・子ども（0～18 歳）による図書館資料活用度を示す指標

ブックちゃん貸出 件数	142 件	172 件	・ 学校図書館支援事業がどれだけ実施 されたか示す指標
----------------	-------	-------	--------------------------------

運営計画 4 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2022 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	14 件	・ アウトリーチサービスとして司書が どれだけ学校図書館へ寄与出来たか 示す指標
利用者満足度	94.2%	94.3%	・ 図書館利用における質的満足度を示 す指標

2022 年度 単年度目標

単年度指標 毎年	現状値 (2017 年)	単年度目標値 (2022 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,335 人	現状値増加率 102.6%
入館者数	309,377 人	316,915 人	現状値増加率 102.4%
貸出人数	92,006 人	93,881 人	現状値増加率 102.0%
貸出冊数	451,748 冊	460,910 冊	現状値増加率 102.0%

2023 年度 単年度実施計画（案）

単年度実施計画は、運営計画をもとに各年度に取り組む具体内容を示すものです。
なお達成できなかった項目については、次年度の計画へ盛り込むことを検討します。

運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実

1-1 資料・情報収集機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料収集基準に基づいた資料収集
	・ 特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
	・ 郷土・行政資料の継続収集と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実

1-2 資料・情報提供機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 参考郷土資料室の活用と周知
	・ レファレンスサービスの周知と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料の適切な管理と保存
	・ TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
	・ 電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上	
実施年度	具体内容
全期間	・ 利用ニーズの把握及び運営への反映
	・ 乳幼児・保護者のための環境整備
	・ 障がい者のための環境整備
	・ 高齢者のための環境整備
	・ フリースペースとしてのリラックススペースの活用
	・ 外国語版利用案内の配布

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

2-1 課題解決支援	
実施年度	具体内容
全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
	・ICTを用いた情報入手の周知
	・パスファインダーの作成と配布
	・レファレンス技能の向上
	・ICT活用講座の継続開講とその拡充
	・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
	・他市図書館との交換展示
2023	・妊婦向け絵本講座の開催
	・子育て情報コーナーの開設
	・自分史作成講座

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	
実施年度	具体内容
全期間	・市民協働・外部連携の促進
	・市内ボランティア団体との連携
	・ボランティア養成講座の開催
	・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
	・図書館文化セミナー（郷土）の開催
	・市民協働事業の推進

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

3-1 子どもの読書活動の推進	
実施年度	具体内容
全期間	・乳幼児コーナーの充実
	・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
	・「赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本ひろば」の開催
	・読書への関心を高める体験型事業の実施
	・図書館文化セミナー（児童）の開催
	・学校図書館支援事業
	・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
	・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
	・苫小牧市立学校図書館研究部会との連携
	・市内関連部署との連携

全期間	・移動図書館車による市内保育園への団体貸出
	・児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
2023	・市内関連施設情報の集約と情報発信（事業マップの作成・配布）

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成

実施年度	具体内容
全期間	・図書館文化セミナー（一般）の開催
	・成人に向けた読書環境支援
	・コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
	・市内各施設との協働・連携事業の開催

運営計画4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4-1 効果的・効率的な図書館運営

実施年度	具体内容
全期間	・業務改善の実施
	・個人情報保護のための取組の継続
	・利用者要望の把握とその実現

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

実施年度	具体内容
全期間	・接遇の向上
	・専門性の向上
	・郷土に関する研修の実施
	・危機管理に関する意識の共有と研修の実施
	・個人情報保護研修
2023	・他市交流人事の実施

4-3 図書館サービスの周知

実施年度	具体内容
全期間	・図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
	・インターネットを用いた情報発信の充実
	・デジタルサイネージの活用
	・地域デジタルコンテンツの公開と充実

4-4 アウトリーチの推進	
実施年度	具体内容
全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
	・障害者サービスの周知
	・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
	・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進

運営計画 1 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
蔵書冊数	5 年間で目標達成とするため、単年度の成果指標としては使用せず。		・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	35,000 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	10,450 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

運営計画 2 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
レファレンス受付件数	7,362 件	7,500 件	・市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画 3 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	79,500 冊	・子ども（0～18 歳）による図書館資料活用度を示す指標
ブックちゃん貸出件数	142 件	180 件	・学校図書館支援事業がどれだけ実施されたか示す指標

運営計画 4 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	15 件	・アウトリーチサービスとして司書が どれだけ学校図書館へ寄与出来たか 示す指標
利用者満足度	94.2%	94.3%	・図書館利用における質的満足度を示 す指標

2023 年度目標（最終年度）

単年度指標 毎年	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,350 人	現状値増加率 103.2%
入館者数	309,377 人	318,800 人	現状値増加率 103.0%
貸出人数	92,006 人	94,350 人	現状値増加率 102.5%
貸出冊数	451,748 冊	463,200 冊	現状値増加率 102.5%